


 町政を問う
 一般質問

コロナ禍での福祉事業は

町長 ⇒ 健康寿命の延伸を進める

問

今町民は、町内クラスターによる感染者急増により、コロナ感染への不安など心にタメージを受けています。

外出できません、運動不足による筋力低下、人との会話も減り、新たな疾患への可能性も増えています。

町民自らの健康維持意識の高まりは、今後更に重要です。健康福祉事業の計画は。

町長

「まちなか交流サロン」「ふれあいサロン」「生きがいサロン」などは、健康増進、介護予防、認知症対策、地区内交流のため、今後も積極的に取り組まします。

問

高齢になれば、なるほど、日々の生活の運動量は減っていきます。

散歩するには、危険な環境に住んでいる方もいます。そこで屋内でウォーキングができるランニングマシンを町で準備し、希望する方に貸し出すことで健康維持を図っては。

町長

自宅においてランニングマシンで運動することは、心肺機能を高めることや、歩行速度の維持に効果があり、介護予防にもつながると考えますが、現在は考えておりません。

GIGAスクール構想の前に

教育長 ↓ ICT技術者の支援が必要

問

先生とGIGAスクールサポーターが両輪となり、効果的なデジタル授業を進めることが重要では。

教育長

4月からは一人一台端末の授業が始まります。効果的授業にするためには引き続きICT技術者の支援が必要と考え、当初予算にサポーター配置事業委託料を計上しています。

問

本町のオンライン授業の実施は、いつごろか。

教育長

Wifi環境のない家庭には学習専用Wifiを貸与し、長期休業期間に端末を持ち帰りオンラインの訓練を行う予定ですが、実施日などは決めていません。

その他の質問

- ・ 第2次南会津町総合振興計画の「次世代の地域を担う人材の育成」に向けて
- ・ 図書館の重要な役割、読書の大切さを子ども達に
- ・ 県のドローンによるインシシ調査事業への参加を

※健康福祉事業一覧

事業名	運営	内容
まちなか高齢者居場所づくり交流サロン	シルバー人材センター	市街地在住の高齢者の交流の場。高齢者自身が講師や生徒となり「生きがいづくりの「カルチャー教室」を実施。介護予防を目的とした「さすけねえ体操」を週1回開催。
ふれあいサロン	高齢者見守り支援員	各地区において開催。令和元年度58地区で開催。参加者の交流、介護予防を目的として実施。
生きがいサロン	南会津会・町社会福祉協議会	ゲームなどのレクリエーション、作品づくりなどをとおして参加者の交流、介護予防を目的として実施。